

食材の放射能検査情報 H26-第3号

6月度・放射能検査の結果(ご報告)

6月の放射能検査は、総合科学新潟研究所が取りまとめている国内の放射能測定結果の取りまとめ(社内 LAN で毎週情報を共有化)を踏まえた品目・産地の選定を実施した上で、大庄基準で定めた独自のスクリーニング検査の基準による、放射能汚染の可能性がある地域および品目の放射能測定を 155 点実施致しました。

★ 商品本部と食品衛生研究所が共同して実施している流通前食品のスクリーニング検査の結果、別表のとおり 155 点全て、放射能汚染が無いことを確認致しました。

対象品目は、豆類・きのこ類、牛肉等を重点的に確認しております。

[説明]

- 1 スクリーニング検査の対象は、青果物 85 点、水産物 42 点、畜産物 28 点(合計 155 点)で、全て安全を確認いたしました。
- 2 今後とも、汚染動向を的確に把握した上で産地・品目を選定し、必要な検査を実施してまいります。
- 3 なお、スクリーニング検査で放射能を含む疑いのある品目はありませんでしたが、検査の信頼性を検証する意味から、6月に2点を専門機関に委託するゲルマニウム半導体検出器による放射能測定を実施し、放射能を含んでいないことを確認しております。
- 4 東北の食材については、復興支援のために安全性を確認できるものは出来るだけ使用していきたいと考えています。

<参考>

- 1 食材の使用対象(地域・品目)については、自社の総合科学新潟研究所が全国の自治体による放射能検査結果の結果を毎日把握し、出荷制限の追加・解除、50Bq以上検出された地域・品目のデータと地図を物流センターおよび各店舗に毎週提供して食材仕入れの参考にしています。
- 2 これまでのスクリーニング検査で、放射能の汚染が疑われる食材は確認されていないことは、一連の取組みの徹底により、汚染された食材の使用は回避できていると考えております。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。

測定データ**食材の放射能測定結果****1 スクリーニング検査**

測定：株式会社大庄 商品本部

// 食品衛生研究所

年・月		青果物			水産物			畜産物			合計		
		点数	合	否	点数	合	否	点数	合	否	点数	合	否
H 23		1,650	1,650	0	125	125	0	96	96	0	1,871	1,871	0
H 24		2,467	2,467	0	562	562	0	161	161	0	3,190	3,190	0
H 25		1,778	1,778	0	685	685	0	283	283	0	2,744	2,744	0
H26	1月	120	120	0	36	36	0	33	33	0	189	189	0
"	2月	113	113	0	42	42	0	27	27	0	182	182	0
"	3月	112	112	0	58	58	0	21	21	0	191	191	0
"	4月	52	52	0	39	39	0	28	28	0	119	119	0
"	5月	85	85	0	45	45	0	35	35	0	165	165	0
"	6月	85	85	0	42	42	0	28	28	0	155	155	0